

# CSR REPORT 2015 について

## 発行目的

本レポート（CSR\*レポート2015 冊子版）は、横浜ゴムグループが「社会からゆるぎない信頼を得ている地球貢献企業になる」ために、どのようなことを考え、何を行っているのかを、ステークホルダー\*の皆さまに分かりやすくお伝えしたいと考えて、作成した冊子です。

当社グループのポリシーやCSRへの考え方、方向性、パフォーマンスをお伝えする媒体としては、本冊子以外にCSRサイトを作成しており、GRIガイドライン\*第4版に準拠した内容で、当社グループのCSR活動の進捗をまとめていますので、併せてご覧ください。



CSR サイト

## 横浜ゴムグループのCSRと重要課題

当社グループは国連グローバル・コンパクト\*の10原則を規範とし、ISO26000\*の枠組みに沿ってPDCA\* (Plan-Do-Check-Act) を回しています。

### 国連グローバル・コンパクトの10原則

#### 人権

- ・原則1 人権擁護の支持と尊重
- ・原則2 人権侵害への非加担

#### 労働

- ・原則3 組合結成と団体交渉権の実効化
- ・原則4 強制労働の排除
- ・原則5 児童労働の実効的な排除
- ・原則6 雇用と職業の差別撤廃

#### 環境

- ・原則7 環境問題の予防的アプローチ
- ・原則8 環境に対する責任のイニシアティブ
- ・原則9 環境にやさしい技術の開発と普及

#### 腐敗防止

- ・原則10 強要・賄賂等の腐敗防止の取組み



### ISO26000中核主題

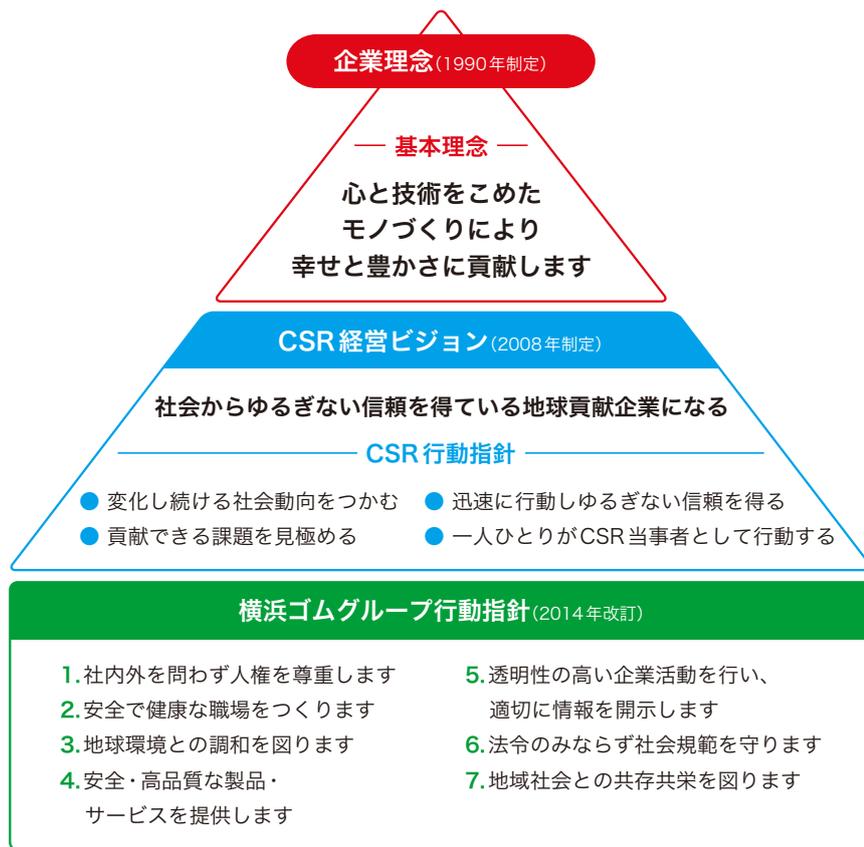
- 1 組織統治
- 2 人権
- 3 労働慣行
- 4 環境
- 5 公正な事業慣行
- 6 消費者課題
- 7 コミュニティへの参画及びコミュニティの発展

2014年から、私たちは多岐にわたるCSRの中から、自社にとってもステークホルダーにとっても影響が大きく、関心の高いテーマを特定し、優先順位をつけて活動を推進してきました。併せて、「地球環境」「地域社会」「お客さま」「株主・投資家」「取引先」「従業員」といったステークホルダーごとに、当社が果たしていくべきテーマを「横浜ゴムの重要課題」としてまとめました。

- 地球環境 …… 青い地球と人を守るために、環境との調和を通じた持続可能な社会づくりに挑戦します
- 地域社会 …… 地域社会の繁栄・発展に貢献し、社会からゆるぎない信頼を得ている地球貢献企業になります
- お客さま …… 心と技術を込めたモノづくりにより、安全・安心な商品を提供します
- 株主・投資家 …… 事業を成長させ、企業価値を高めていきます
- 取引先 …… バリューチェーンを通じたCSR活動を推進します
- 従業員 …… 人を大切にし、人を磨き、人が活躍する場をつくります

本レポートでは、その課題を解決するために取り組んでいる活動の一例と、そこにかかわる従業員の思い、ステークホルダーの皆さまからのメッセージを紹介しています。

※本ページをめぐっていただくと、用語集がありますのでご利用ください。



## CSR・環境経営推進体制

会長兼CEOが議長を務めるCSR\*会議、社長が議長を務める環境推進会議をそれぞれ年に2回開催し、横浜ゴムグループが取り組むべきCSR課題について立案・検討する体制を整えています。経営に影響を与える事項については、経営会議に答申し、承認を得ています。

